

森づくり活動安全研修会を 県内4地区で開催！

2025年7月2日作成
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

◀ 5/19 猿羽根山公園〔最上〕6名参加
ツタウルシを発見！特徴や見つけた際の
注意点を学びました。



◀ 6/4 眺海の森〔庄内〕5名参加
道脇に置かれた丸太について子供
が乗り転倒してしまう危険性を学
びました。



▶ 5/27 源流の森〔置賜〕5名参加
蜂に刺されたときのボイズンリ
ムーバー体験。



▶ 6/24 いこいの森〔村山〕8名参加
応急担架で人が運ぶ実習。
運ばれる側の不安も体験しました。

森づくり活動安全研修会とは、「森づくりをはじめとする野外活動を楽しむ安全に実施するため」という趣旨で、森林活動を主催する団体、企業の方を対象に開催しています。今年度も県内4地区で、野外活動における応急処置法と、リスクマネジメントのワークショップを行いました。応急処置法では、止血法やハチ刺されの対処法、応急担架、ロープワークなど、実技をまじえて研修しました。ワークショップでは、事故を予防する観点で、実際に森林内を歩きながら、注意すべき動植物や下見時のポイントなどを研修しました。どの会場でも、皆さん熱心に受講されており、安全対策を学ぼうとする姿勢が印象的でした。

～講師紹介～ ご指導ありがとうございました！

細川 秀彦 氏（応急処置法担当）
応急手当指導員
源流の森インタープリター

鈴木 秀伸 氏（ワークショップ 村山・最上・置賜担当）
自然体験活動リスクマネージャー
森林インストラクター

畠中 裕之 氏（ワークショップ 庄内担当）
日本山岳ガイド協会認定登山ガイドステージⅡ

今年度は、4地区とも平日に開催しました。森の案内人、インタープリターや市町村などからも幅広くご参加いただき、ありがとうございました。

今年度初めて担当させていただき、これまで森林活動に多く携わっていましたが、改めて応急処置のやり方や森林の中を散策する際の危険な箇所など勉強になることばかりでした。

いざという時、対応できるよう、繰り返し受講し森林のプロフェッショナルになってほしいです。

多くの方に研修を受けていただきたいので次の機会にはぜひご参加ください！（担当T）